

「タイで売られる日本産？フルーツ」

在タイ歴24年。会社・駐在員事務所設立、BOI申請、ビザ・労働許可証、その他各種ライセンス・許認可申請・登記のサポート、労務・法務、コンサルティングを担う。セキュリティやIT会社、バイオ技術商社も含むグループ全体の管理を行い、タイでのビジネスをワンストップでサポート。



日本のタイ向け青果物輸出額は年々増加しており、それを裏付けるようにスーパーやデパートで日本産のいちご、りんごやシャインマスカットなどをよく目にするようになってきました。しかしスーパーなど実際の売り場を見ていると少し違和感を覚えます。それは日本原産であるはずのシャインマスカットやふじりんごが中国産として、日本産よりもずっと安く多数並んでいる点です。また同様に韓国産のシャインマスカットやいちごも高級フルーツとして、中国産よりは高く日本産よりも少し安い価格で売られています。違和感はそれだけではありません。中国産として並んでいる果物に日本語で「おいしい」や「世界に一つのりんご」などのシールが貼られているのです。タイの首都バンコクでは日本食チェーン店の進出が著しく、タイ人経営の屋台でも奇妙な日本語を冠した日本食を多く目にします。それだけ日本食と日本語に対する親近感の高まりを意味すると考えられますが、奇妙でもとりあえずそれらしい日本語を記載しておけば日本が長年培ってきた食の安全性や高い品質などのブランドイメージにあやかれると考えていると思われる。青果においてもそのような販売戦略なのではないでしょうか。

2月下旬にバンコク市内の大手スーパーマーケットで産地と値段、シールに記載された日本語をまとめてみました。

スーパーのBigCとTopsにおいて、りんごと梨は産地が明記されていないもののFood Landにおいて産地が明記されていた商品と包装、シールの形状・文言が似ているので、中国産のものと推察されます。産地が明確であればまだ良いのですが、明記されていなければ日本産のものと考えてしまうのが普通なので、日本のブランドイメージを守るためにも産地明記は標準化してもらいたいところです。



【バンコク市内のスーパーBigCにて撮影】

Food Land				
種類	商品名	産地	日本語シール	価格
りんご	Giant Apple	中国	世界に一つのりんご	89 B 約 370 円
	サンふじりんご	日本	サンふじ	139 B 約 576 円
梨	Snow Pear	中国	おいしい	75 B 約 311 円
BigC				
りんご	Premium Apple	記載なし	カリカリ甘く世界1位のりんご	59 B 約 245 円
梨	Golden Pear	記載なし	おいしい	89 B 約 370 円
Tops				
りんご	Premium Envy Apple	記載なし	カリカリ甘く世界1位のりんご	99 B 約 410 円
梨	Snow Pear	記載なし	おいしい	99 B 約 410 円